

令和元年6月議会提案理由

「住みやすさ日本一が実感できるまちを目指して」

◆6月5日に開会された市議会定例会で、市長が述べた内容(概要)をお伝えします。

5月1日、新しい天皇陛下が「即位され、新しい時代「令和」がスタートいたしました。新しい時代が平和で美りあることを心から願うところです。

環境施設の更新

5月28日に起工式を挙行いたしました。

環境施設本体工事につきましても、この6月から、杭、基礎工事などの本工事に着手いたします。

今後におきましても、周辺環境や安全性に十分配慮する中、令和3年10月の稼働に向け、鋭意、事業を進めます。

交流拠点施設の整備工事につきましては、昨年度の入札不調により完成が予定よりも1年遅れることとなり、地元の皆様へ、



環境センターイメージ図

市民の皆さまに改めてお詫び申し上げます。より効果的で効率的な「市民に愛される施設」となりますよう設計の見直しを行い、その内容について5月17日の環境施設対策特別委員会で「協議を賜り、その後、地元への説明を行い、「ご理解をいただいたところ」です。今後、できるだけ早

期に工事公告を行い、令和3年4月のオープンを目指して取り組みます。

待機児童対策

「ふるたか虹のはし保育園」が開園し、また、小規模保育所2カ所が新たに開園したことにより、約130人分の受入枠の拡充を図ったところです。

また、公立園での正規職員比率の引き上げ、非正規職員の処遇改善、民間園に対する支援制度の拡充に加え、昨年7月に設立した保育人材バンクの積極的な活用など、公民の垣根を超えた施策を推進することで、保育士の人材確保と定着化の取組みを進めました。

その結果、入所申込者数が昨年度より約100人増加したことから、本年4月1日現在の待機児童数は、3歳児以上はゼロ、2歳児以下では58人となり、昨年度の84人からは削減が図れた



ふるたか虹のはし保育園

ところです。

10月からの幼児教育・保育の無償化が正式に決定されたことにより、今後、更なる保育ニーズの増加が見込まれると考えています。

無償化による影響を考慮し、受入枠の拡充策として、学校法人純美禮学園による来年4月開園予定の保育園の設置や保育人材確保に向けた取り組みの推進を図っていますが、今後もさら

に受入枠の確保に努めてまいります。あわせて、職員の研修などを通じた保育の質の向上にも取り組めます。

一方で、幼児教育・保育の無償化により保護者の子育てに対する意識の低下を招かないよう、また、保護者には、家庭は子どもたちが最も身近に接する社会であり、また家庭教育はすべての教育の出発点であること、子育ての第一義的責任は保護者にあることを改めて認識していただく必要があります。

このため、「新・守山版ネウボラ創造プロジェクト」の取り組みの一つとして、公民館での「親子ほっとステーション」の中で実施する「わくわく子育て応援プログラム」などで子どもと向き合うことの大切さや親子の絆を深めることの重要性について周知するとともに、昨年度とりまとめた「こどもの育ち連携取組方針」の具現化に向け、制度の創設や見直し、運用などの精度を高めます。

道路の安全確保

大津市の県道交差点で痛ましい事故が発生しました。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、怪我を負われた方々

へのお見舞いと一日でも早い回復を願う次第です。

この事故を受けまして、小規模保育園など地域型保育事業所について、主な散歩コースを点検するとともに、市職員による危険個所の確認を実施し、危険と思われる散歩コースの変更や安全対策などの対応をお願いしたところです。また、すべての市内各保育園などの長に対し、各園における園児の安全管理の徹底を周知するとともに、危険個所などについての報告を求めたところです。

今後、危険個所の解消に向け順次必要な対策を講じてまいりますとともに、県や公安委員会に対しても、早急な対策を要望します。

教育環境の充実

守山南中学校大規模改造事業は、第1期および第2期の校舎大規模改造工事を終え、今年度は、第3期工事として、主に特別教室が入る校舎の増築工事を進めます。まずは、既存校舎などの解体を行い、10月から本工事に着手し、令和2年8月の完成を目指します。また、令和3年の2学期からの給食開始に向け、給食



守山南中学校

調理施設と第2体育館をあわせた施設整備に取り組みべく、現在、基本設計および実施設計を進めているところです。令和4年の2学期からの全中学校での給食開始に向け、給食施設、提供方法、給食費の徴収管理など検討を重ねます。

河西小学校、速野小学校、中洲小学校のトイレの洋式化については、夏休み中に工事を完了させ、2学期から利用してもらえよう進めます。この工事により、目標としていた全小中学校の洋式化率50%以上が達成できることとなります。

新庁舎整備

公共施設調査特別委員会および「新庁舎整備検討ワーキングチーム」において、特に新庁舎の機能や施設計画、総事業費などを議論いただき、この3月に「つなぐ、守の舎」をイメージとする「守山市新庁舎整備基本計画」をとりまとめ、公表しました。

また、5月23日には、臨時に公共施設調査特別委員会、全員協議会を開催いただき、5月27日に「基本設計業務の実施にかかる公告」を行いました。

経験と実績に基づく創造力や技術力を有することはもちろん、コストマネジメントを的確に行える、最も適切な設計業者を選定します。

8月には1次審査を通過した業者からの提案をベースに公開プレゼンテーションを実施し、有識者や市民の代表からなるプロポーザル審査委員会の審査を経て、基本設計業者を決定します。

今後も、市民の皆さまのコンセンサス(ご理解)が必要不可欠であることから、引き続き丁寧な説明をします。

野洲川放水路40周年

6月2日に野洲川大改修により整備された野洲川放水路の通水から40年を迎えたところです。



野洲川

昭和28年の大洪水をきっかけに治水対策を求める機運が高まる中、地元では反対の声が上がりましたが、最終的には「未来永劫にわたって安心できる河川」とすることに深い「ご理解をいただき、昭和46年に国が放水路整備工事に着手し、昭和54年6月

2日に通水が行われました。今後におきましても、これまで先人が築いてこられた良好な都市インフラを次世代に引き継ぎ、市民の皆さまとともに災害に強いまちづくりを進めます。

守山銀座ビル市街地再開発事業

5月12日に「守山銀座ビル市街地再開発組合」施行による再開発事業の「守山銀座ビル西棟」が先行オープンしました。引き続き、東棟を含めたグラウンドオープンに向け、事業の支援および銀座水辺整備や歩道改良などの周辺整備工事に取り組みます。



守山銀座ビル西棟